

首都高初のハイウェイオアシス 「川口ハイウェイオアシス」の開業

首都高速道路株式会社

◆ はじめに

川口市と首都高速道路株式会社（以下「当社」）は、川口市が2018年4月に一部開園、2021年6月に開園区域を拡大した「イナパーク川口」と当社が管理・運営する高速川口線川口パーキングエリア（以下「川口PA」）を連結し、一体的に整備する首都高初のハイウェイオアシスを、2022年4月25日に開業した。なお、これをもってイナパーク川口（以下「公園」）は全体開園となった。

ハイウェイオアシスとは、高速道路の休憩施設と都市公園等とを一体的に整備し、高速道路の利用者に潤いのあるスペースを提供するとともに、都市公園などの利用増進を図る施設である。

この開園により、一般道からだけでなく首都高からも公園へ直接アクセスが可能となり、首都高を降りずに公園や地域を散策できるようになった。



図-1 位置図



図-2 施設案内図

◆ 経緯

川口ハイウェイオアシスは、地域振興及び首都高のお客さまの利便性向上を目的として、2011年12月、川口市と地域拠点整備事業に係る覚書を締結し、既存の川口PAと川口市が整備する公園について、一体的に整備を進めてきた。

2012年3月には、川口市、独立行政法人日本高速道路保有・債務返済機構（以下「機構」）及び当社間において、地域拠点整備事業の施工区分等について取り決める基本協定を締結した。また、本事業に伴い、駐車場が拡張されたエリア（図-3紫色部）を道路区域に編入するため、道路区域を変更し、埼玉県により2022年1月に告示された。

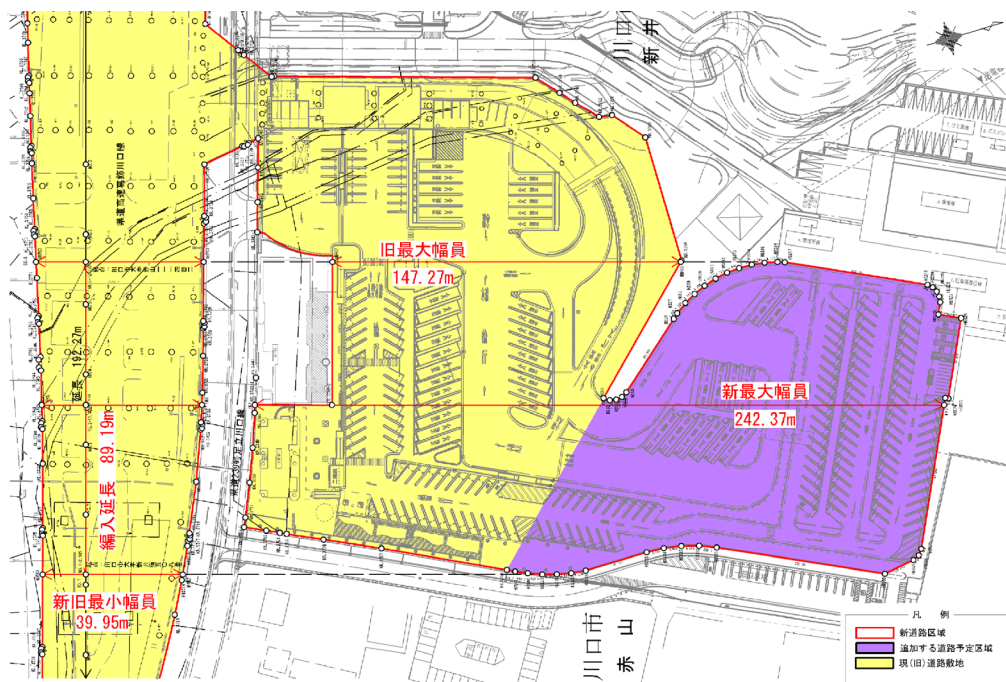


図-3 道路区域変更図（紫色部を区域編入）

2022年3月17日には、新たに道路区域となる公園側駐車場について、川口市、機構及び当社間で相互に効用を兼ねる工作物の維持、修繕、災害復旧その他の管理の方法等について兼用工作物管理協定を締結し、2022年3月29日、道路法第20条第6項に基づき、埼玉県により当該協定内容が公示された。

その後、前記道路区域編入箇所について、2022年4月22日、埼玉県により供用開始告示され、2022年4月25日に開業した。

◆ 施設概要

川口ハイウェイオアシスは、「つなぐ」がデザインコンセプトになっており、川口PAと公園とのつながりと解放感を意識し、高い天井とガラス張りが特徴の建物を展望テラスでつないだ空間になっている。

従来の川口PA商業施設用地に川口市がバス発着所を整備するため、首都高グループが商業施設を公園内へ拡張移転した。併せて、屋内遊具施設、トイレ・休憩所等を当社の設計・施工にて川口市が新たに設け、首都高のお客さま向けの公園側駐車場も同様の役割にて大幅に拡張した。

首都高と一般道から利用可能な川口ハイウェイオアシスは、首都高のお客さまと地域の方々のそれぞれから親しまれ、子どもからお年寄りまで幅広い世代が集い・憩える空間として、首都高グループが管理・運営を担っている。



写真-1 川口ハイウェイオアシス外観

(1) 公園側駐車場

従来の川口PAと連結する公園側駐車場を整備した。これにより、首都高を降りずに利用できる駐車場は、従来の川口PAの119台（小型車88台、大型車31台）から227台（小型車184台、大型車43台）へほぼ倍増した。

また、一般道から利用される方には、園内外あわせて340台（小型車335台、大型車5台）の駐車場を用意している。



写真-2 上空から見た川口ハイウェイオアシス

(2) 商業施設（レストラン・カフェ・売店）

従来の川口PA内の商業施設と比べて、レストランの座席数と売店の売場面積をそれぞれ約2倍に拡張し、カフェ機能を加えた新たな施設となった。

当社グループ会社が管理・運営し、川口市産の鋳物の羽釜で炊き上げたご飯を使った定食や丼ぶり、市内の豆腐店の豆乳を使ったオリジナル豆乳ソフトクリーム等地域の魅力を取り入れたメニューが目白押しとなっている。



写真-3 カフェ「BOOM CAFÉ」と売店「HWO STORE」

(3) 屋内遊具施設（ASOBooN）

子どもが雨の日でも体を動かし、楽しく遊ぶことができる全天候型の屋内遊具施設（一部屋外エリアを含む）を配置している。

当社グループ会社が管理・運営を担っており、子どもの「あそび」に総合的に取り組んでいる「株式会社ボーネルンド」がプロデュースした施設である。

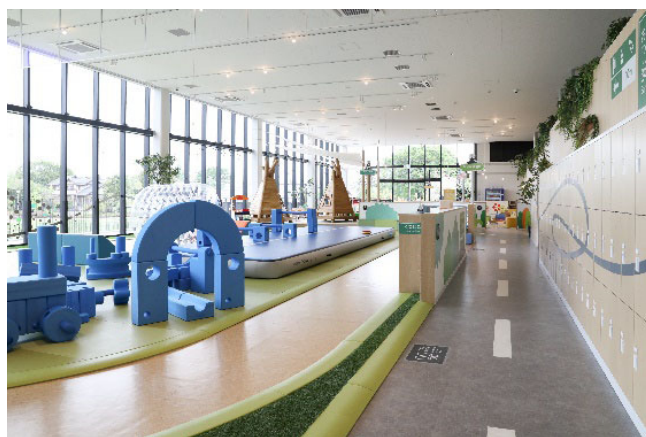


写真-4 屋内遊具施設（ASOBooN）

(4) トイレ・休憩所等

従来からある川口PA内のトイレに加えて、公園内に新設されたトイレも利用可能となった。

増設したトイレは、川口市の名産品である「鋳物」を使った男性用トイレを取り入れる等地域の魅力を感じられるよう工夫を凝らしている。

また、休憩所や集会所も併設しており、地域の方々も首都高のお客さまもほっと一息つける場所となっている。

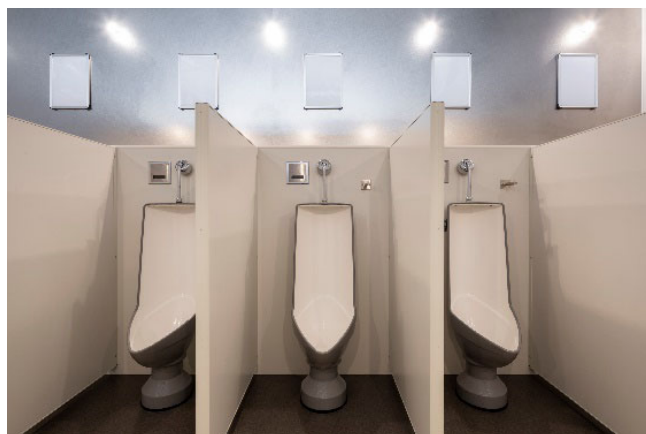


写真-5 川口市の鋳物を使った男性用トイレ

◆ 開業後の状況

(1) 開業イベント

開業を翌日に控えた4月24日に、記念式典が開催された。川口市長（副市長が代読）、地元選出の国會議員、当社代表取締役社長による祝辞があり、式典終了後には報道関係者も含めた内覧会が行われた。

開業当日には警視庁高速隊、埼玉県警高速隊、川口市の協力の下、交通安全キャンペーンを実施し、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を呼びかけた。



写真-6 開業前日の記念式典



写真-7 開業当日の交通安全キャンペーン

(2) 商業施設（レストラン・カフェ・売店）の状況

開業から約半年が経過したが、現在も多くのお客さまにご利用いただいている。2022年度上半期（※4/25～9/30）におけるレ



写真-8 人気No.1のスタミナもつ焼き丼(ミニ豚汁付き)

スレストラン・カフェ・売店の利用人数は前年比で266%、

新型コロナウイルス流行前の2019年比でも164%となっている。これらの盛況をうけ、レジ混雑緩和やラインナップのさらなる充実を目的に、休日を中心にキッチンカーを誘致し、お客さまの分散を図る等の工夫を行っている。

順位	商品名	価格
1位	スタミナもつ焼き丼	700円
2位	濃厚 鶏白湯ラーメン	800円
3位	埼玉名物 肉汁うどん(中)	700円

図-4 売れ筋メニューランキング

※販売価格は2022年9月時点

(3) 屋内遊具施設（ASOBooN）の状況

こちらにも、想定を超える多くのお客さまにお越しいただいており、休日には入場整理券が配布終了になる日も多くなっている。心ゆくまで施設を体験したお子さまに、食事も楽しんでいただけるよう、隣のレストランでお子さまランチの提供を開始し、販売開始から2カ月で3,000食以上を売り上げる人気メニューとなっている。

 屋内あそび場混雑状況 入場制限中 本日の受付は 終了いたしました。	 屋内あそび場混雑状況 入場制限中	 屋内あそび場混雑状況 入場制限中
 屋内あそび場混雑状況 入場制限中	 屋内あそび場混雑状況 入場制限中	 屋内あそび場混雑状況 普通です

図-5 入場整理券配布状況（公式 Instagram）

(4) メディア報道

開業直後から、テレビ・ラジオ・新聞雑誌・WEBメディア等に多数取り上げていただいた。また、ドライブ情報誌『首都高じゃらん』や公式 SNS 等の自社メディアの活用や、YouTube・インフルエンサーとのタイアップ等、積極的な広報展開を行い、多くのお客さまにハイウェイオアシスの存在をアピールした。

◆ 地域連携

ハイウェイオアシスは、道路インフラと地域をつなぐ結節点としての役割を担っている。GW や夏休みといった大型連休には川口市はもちろんのこと、埼玉県の先にある栃木県（観光交流課）とのイベントも実施し、訪れた多くのお客さまにお楽しみいただいた。



写真-9 GWのスタンプラリー&働く車展示イベント
(川口市と共催)



写真-10 地域の魅力を紹介する「首都高たびマルシェ」
(栃木県観光交流課と共催)

◆ むすびに

川口ハイウェイオアシスは、覚書の締結から開業に辿り着くまでの約10年の中で、新型コロナウイルスの感染拡大等、急速な外部環境の変化に晒されながらも、無事に開業を迎え、多くのお客さまにお越しただけの施設となったのは、ひとえに、川口市をはじめ、多岐にわたる関係者の努力の賜物である。

道路ネットワークが都市公園と一体となり、地域とつながりを生むことで、ドライバーと地域住民の双方に新たな価値を提供している川口ハイウェイオアシスは、「ひと・まち・くらしをネットワーク」という当社の理念を体現する存在である。今後も、当社ならではの視点で、子どもからお年寄りまですべての人のオアシスとなれるような空間を目指していきたい。